

年 組 名 前 :

新入生用の机 6年生が手作り

富士川・増穂南小の6年生が、新年度に新入生が学校で使う机を作りました。机は学校林で間伐したヒノキを天板として活用。

新入生が卒業する時には天板を取り外して記念品に加工する計画で、学校は新しい伝統行事にしたいと考えです。製作はPTA有志が山や樹木に親しんでもらおうと初めて企画。7年ほど



天板を机の脚に固定する児童—増穂南小

前に近くの学校林で児童らが間伐して乾燥させたヒノキを地元の木工家が天板に加工しました。6年生3人が2月末、木工家の指導を受けながら、ドライバーでねじを回して天板を机の脚に固定する作業をしました。4月に入学する5人がこの机を使用します。

(2023年3月16日付 山梨日日新聞 週刊こびっと 10面)

問1 富士川町・増穂南小学校の6年生が作った机は、どんな木を使用しましたか。

.....

問2 新入生が卒業する時には、この机をどのようにする計画ですか。

.....

問3 手作りした机は、6年生の何人が作り、新年度に入学する何人が使いますか。

・6年生 ..... 人が作り、新年度に入学する ..... 人が使います。